

研修報告書

焼津市議会議員 様

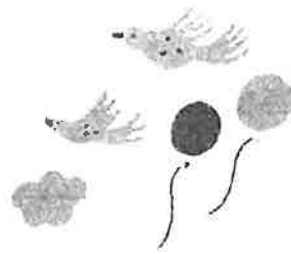
議員氏名 秋山博子

令和 6 年 10 月 26 日 下記のことに、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	市川房枝政治参画フォーラム「共に生きる～一人ひとりが尊重される社会へ」 (後日メディア受講)
研修の目的	地方自治体の本旨は住民福祉の増進と定められているにも関わらず、福祉ニーズに対する議員のアンテナはまだ十分とは言えない。民生費が今後さらに増大していくと予測される中、地方財政と福祉の関係はどうか、さらに焼津でも増加している外国人住民や発達障害児者の支援について学びたい。
所 感 ① 基調講演「自治体福祉政策と地方財政」(星野奈穂子氏／総務省地方財政審議会委員) 地方財政の観点から福祉政策を考えてみようというプログラム。決算統計から見える福祉の姿とは、など大変興味深い講演だった。福祉政策における自治体の役割は非常に重要。福祉政策には現金給付(生活保護など)と現物給付(育児や高齢者ケアなど公共サービス)があるが、社会が逼迫し、家族や地域の相互扶助的な機能が低下してくることで、市民の実情を把握する自治体が担う範囲は今後さらに増加する。実態調査や対話を通して政策に繋げていく自治体の役割は重要である。 ② 講演「地域における多文化共生を考える」(鈴木江理子氏／国士舘大学教授) 日本はすでに多文化化していると豊富な統計データから現状を説明いただく。例えば、2023年の出生数をみると、日本で生まれる子どもの「22.5人に1人が外国ルーツの子ども」なのである。社会で共に生きるためには2つの視点「文化的差異(多様性)の承認:ちがいと「対等な関係の構築:おなじ」が必要であり、3つの壁「言葉」「制度」「心」を越えることの重要性を指摘している。自治体における壁を越える試みとして「外国人諮問会議の創設」「接点や交流の場の創出」「差別禁止条例の制定」などをあげていただいた。 ③ 講演「発達障害者支援の現状と課題～精神保健福祉士として、家族として～」(渡辺由美子氏／市川市職員、精神保健福祉士、日本発達障害ネットワーク理事) 令和6年版障害者白書によると国民の9.2%は何らかの障害を持っていると考えることができるかとされており、境界知能(IQ70～84)は人口の約14%、1400万人と推定されていることが示され、それぞれの困難が個別に異なることもご説明いただいた。福祉避難所の体制や強度行動障害の症状のある方のケアなど課題は多い。	
今後の参考となる事項 ●財政資料から福祉をみる ●外国人諮問会議の創設 ●多様な言語や文化を前提とした社会環境の整備 ●発達障害児者のための防災	

市川房枝政治参画フォーラム

共に生きる
～一人ひとりが尊重される社会へ



⑥

時／所 ■ 2024年10月26日(土)／婦選会館

主 催 ■ 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

【プログラム】 受付・開場 9:30

総司会 栃木県議 山田 みやこ

10:00～10:10 開会あいさつ
オリエンテーション

市川房枝記念会女性と政治センター常務理事 菅野 則子

10:10～12:10 基調講演「自治体の福祉政策と地方財政」

地方財政審議会委員 星野菜穂子さん

12:10～13:10 昼食・休憩

13:10～14:40 講演「地域における「多文化共生」を考える」

国士舘大学教授 鈴木江理子さん

14:45～16:15 講演「発達障害者支援の現状と課題～精神保健福祉士として、家族として」
市川市職員、精神保健福祉士、日本発達障害ネットワーク理事 渡辺由美子さん

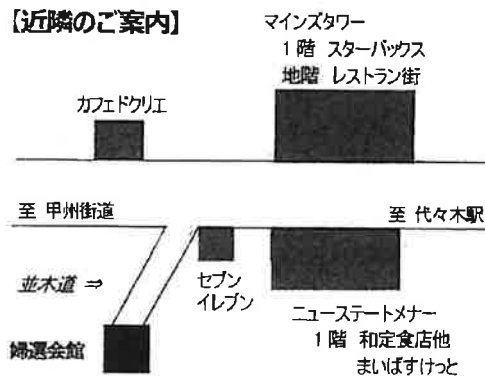
16:15 閉会あいさつ 市川房枝政治参画フォーラム企画運営委員長 大河 巳渡子

16:30～17:30 交流会（自由参加・要予約・茶菓代500円）

【施設のご案内】

- ☆受付・事務局・書籍など販売：1階
- ☆フォーラム会場・情報交流コーナー：2階会議室
- ☆昼食会場：1階多目的ホール
- ☆市川房枝記念展示室：2階
- ☆トイレ：女性（1～3階） 男性（2～3階）
- ☆飲料自販機：玄関を出て左側

【近隣のご案内】



市川房枝政治参画フォーラム2024

共に生きる ～一人ひとりが尊重される社会へ

日時 2024/10/26(土)

場所 婦選会館 (新宿駅徒歩7分)

自治体の抱える課題解決には財源の視点が重要です。特に福祉政策を進めるための「地方財政」の視点に着目します。また、多くの外国人就労の状況下、生活習慣、学校教育の対応なども含め、「共に生きる」「多文化共生社会」とは何かについて深めます。発達障害については5月フォーラムでの学びを一步進めます。専門家として行政の相談に携わり、発達障害を代表する全国組織の理事として活動し、専門家でもある講師に具体的な施策と課題を学びます。多くのご参加をお待ちしています。

参加費 現職議員 12,000円(税込)
現職議員以外 5,000円(税込)

対象 自治体議員及びその支援者、
テーマに関心がある人(主に女性)

定員 40名
(要予約・受付先着順)

音声(CD)受講お持ち
1コマ3,000円
(送料別)

お支払方法 参加費は、以下のいずれかの銀行口座へ
お振込ください。

口座名：公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター
【みずほ銀行 新宿新都心支店】口座番号：(普通)0250244
【三菱UFJ銀行 新宿中央支店】口座番号：(普通)5562919

プログラム

10:00~10:10	開会・オリエンテーション
10:10~12:10	基調講演 自治体の福祉政策と地方財政 星野菜穂子さん(地方財政審議会委員)
12:10~13:10	昼食・休憩
13:10~14:40	講演 地域における「多文化共生」を考える 鈴木江理子さん(国士舘大学教授)
14:45~16:15	講演 発達障害者支援の現状と課題 ～精神保健福祉士として、家族として 渡辺由美子さん (市川市職員、精神保健福祉士、日本発達障害ネットワーク理事)
16:15	閉会
16:30~17:30	交流会 (自由参加・要予約・茶菓代500円)

▼参加希望の方は①裏面の申込用紙の送付、②10月21日(月)までに参加費をお払込みください。
お払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。キャンセルは10月21日まで申し受けます。

▼10月22日以降のキャンセルは、参加費全額が対象となります。その場合、下記の音声・資料をお送りしますが、
代理の方のご出席、もしくは1年以内の他のフォーラムへの振替も可能です。

▼星野菜穂子さんと渡辺由美子さんの講演は音声(CD)による受講も可能です。1コマ3,000円+送料500円=3,500円
です(2コマの場合3,000円×2+500円=6,500円)。終了後1週間以内に音声(CD)と資料(紙媒体)を郵送いたします。
なお、鈴木江理子さんは資料のみ(1,000円+送料500円=1,500円)となります。

▼体調不良の方は参加をお控えください。

▼講師の都合などにより変更がある場合は、ご了承ください。

お申込み
お問合せ

(公財)市川房枝記念会女性と政治センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 TEL: 03-3370-0238 FAX: 03-5388-4633

E-mail: fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL: <https://www.ichikawa-fusae.or.jp>

講師プロフィール



星野 菜穂子（ほしの・なほこ）さん

地方財政審議会委員。九州大学大学院修了、博士（経済学）。和光大学経済経営学部教授を経て2019年1月より現職。専門は地方財政論。とくに地方交付税などの財政調整制度の研究を行っている。主な著書に『地方交付税の財源保障』（ミネルヴァ書房、2013年）等。このほか総務省「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化に関する検討会」委員等も務めた。近年は、自治体の地方単独事業に係わる研究も進めている。



鈴木 江理子（すずき・えりこ）さん

国土館大学文学部教授。一橋大学大学院博士課程修了。博士（社会学）。移民政策学会会長、NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク共同代表理事、認定NPO法人多文化共生センター東京理事、一般社団法人かながわ国際交流財団理事等を兼任。移民政策や人口政策、労働政策を研究するかたわら、外国人支援の現場でも活動。主著に『東日本大震災と外国人移住者たち』（2012年）、『なぜ今、移民問題か』（2014年）、『新版 外国人労働者受け入れを問う』（2019年）、『アンダーコロナの移民たち』（2021年）など。



渡辺 由美子（わたなべ・ゆみこ）さん

1964年生まれ。社会福祉系の4年制大学を卒業後、精神障害者の小規模作業所や国立精神・神経センター精神保健研究所のデイケア勤務を経て、千葉縣市川市に勤務。精神障害者の通所施設での勤務や、障害者の相談支援等の業務など、成人の精神障害者支援を専門としており、その一環で発達障害者に係ることも多い。また、（公社）日本精神保健福祉士協会の理事（2011年～2021年）、（一社）日本発達障害ネットワーク（JDDnet）理事（～現在）、千葉県精神保健福祉士協会副会長（～現在）などの活動も行っている。

-----参加申込書「お寄せいただいた個人情報は財団からのご案内に利用させていただきます。」-----

ふりがな お名前	受講歴 はじめて参加・前に参加したことがある		
連絡先	住所 (〒)	電話	FAX メール
現職議員	自治体名	所属党派	党籍 有 () ・ 無
議員以外	活動など ()		
会場参加費	現職議員 (12,000円) ・ 議員以外 (5,000円)		交流会 (500円) : 参加 ・ 不参加 ※交流会費は当日お支払い下さい。
音声/資料希望	(星野菜穂子さん 音声 3,000円 鈴木江理子さん 資料 1,000円 渡辺由美子さん 音声 3,000円) + 送料別 500円		払込方法: みずほ ・ 三菱
参加のきっかけ	議会事務局より・当センターからの案内・『女性展望』誌上・当センターHP・その他		

ご要望など

FAX 03 - 5388 - 4633